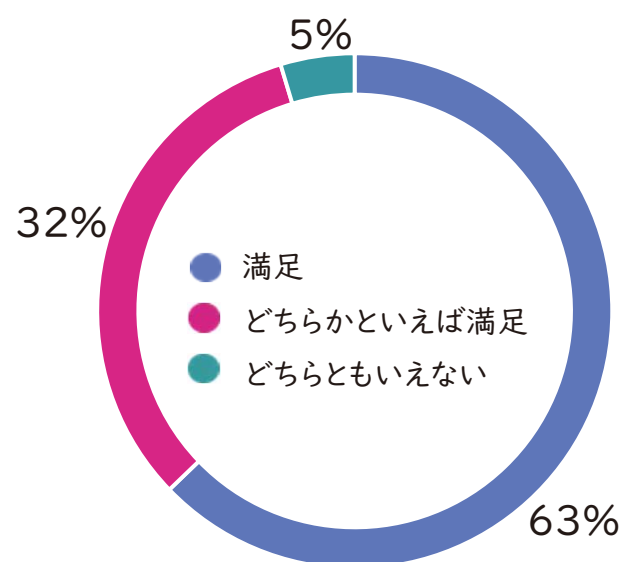


Topic4 2015年度・2022年度卒業後アンケート結果について

卒業後アンケートは、卒業後3年・10年を経過した卒業生を対象に「卒業後のスポーツ、武道、健康づくりとの関り」や「本学教育に対する満足度」等について調査しているものです。今回は2015年度・2022年度の卒業生を対象にアンケートを実施しました。様々なアンケート項目がある中、鹿屋体育大学の教育について「総合的な満足度」、「社会に出て役立ったもの」の2項目についてご紹介します。

本学での教育を振り返って、総合的に満足していますか？



卒業生の
95%が

「満足」、「どちらかといえば満足」と回答



本学の教育で社会に出て役立ったものは？

- 1 専門的な知識や教養
- 2 科学的支援力
実技指導力
- 3 コミュニケーション力
- 4 指導者基礎力
科学的表現力
運動実技力
- 5 リーダーシップ



「専門的な知識や教養」は直近5年間のアンケートにおいても社会に出て役立ったと回答している卒業生が多くいらっしゃいました。
本学の教育や学生の学びがどのように社会で活かされているのかを把握し、大学の教育改善を図っていきます。

『鹿屋体育大学での4年間で充実する秘密の書』が4.1にVersion up!!

本学での学びや大学生活に関する情報がギュッと詰まった1冊です。
大学HPでも公開していますので、是非ご覧ください。



NIFS-AP News

2026.4 Vol. 18

- ◆ 教員から体育大生へのメッセージ
- ◆ 教員表彰
- ◆ 3年生PROGテスト結果
- ◆ 卒業後アンケート結果

写真：カヌー部

Topic1 教員から体育大生へのメッセージ

「シマレ ガンバレ」



スポーツ生命科学系

講師

宮崎 輝光 先生

研究キーワード

- ・ バイオメカニクス
- ・ スポーツ傷害

スポーツバイオメカニクス関連の授業を担当している宮崎輝光です。現在は、走・跳・投といったスポーツの基本動作を対象とし、パフォーマンスの高い選手の特徴や良い動きを生み出すための力学的機序を明らかにしたいと考え、研究に取り組んでいます。スポーツバイオメカニクスの研究を推進するためには、さまざまな実験機材も必要ですが、最も重要なのはこれまでスポーツに真剣に取り組んできた選手である皆さんの存在です。みなさんの身体や動きそのものがスポーツ科学の研究を支えており、ヒトのパフォーマンスの限界やおもしろさを探るための重要な基盤となります。鹿屋体育大学には、豊富な環境・機材がそろっていますので、これまでの選手としての経験や考えてきたことを定量的に検証してみるのもおもしろいかもしれません。

さて、タイトルの「シマレ ガンバレ」は私の母校の標語です。その意味は、「妥協することなくベストを尽くす精神」とのことです。大学4年間は長いようで短く、多くのことに挑戦できるようで行動しないと何もできずに終わってしまいます。皆さんにとって、何か一つでも「妥協することなくベストを尽くせた」と思えるものができるとを願っています。「スポーツ」、「勉強」、「研究」、「ボランティア」、「留学」、「日本一周」、「起業」など…、何でも良いと思います。「大学」や「スポーツ・体育」といった枠組みにとらわれず、皆さんの自由な発想で、さまざまなものに挑戦し、時には失敗しながらも、この大学生活の中で「妥協することなくベストを尽くせた」と振り返ることができるよう、応援しています。

鹿屋体育大学の学生のみなさん、シマレ ガンバレ!!

「期待されていない講義ですが、記憶には残したいと思います」

私の大学時代（福岡大学スポーツ科学部）を振り返ると、ある講義の一場面、ほんの5分ほどの出来事が、今も強く記憶に残っています。将来、私の研究の“大ボス”となる教授が、講義中に教室の狭い通路をスロージョギングしながら、満面の笑みで「どうだ、すごいだろ?」と、心底楽しそうに語っていた光景です。ちなみに、そのとき教授が何を話していたのかは、まったく覚えていません。

大学の講義はいずれも専門的で、多くの新しい知識を与えてくれます。しかし正直なところ、内容の大半は時間とともに薄れていきます。では、どうすれば講義は記憶に残るのでしょうか。

今の私なりの答えを、いくつか示します。まず、皆さんの大学生活を上回るほどの「強烈なインパクト」をもつ最新の知見を提示して、刺激的にすることです。そして、その情報を「高い熱量」で、「誰よりも楽しそうに」伝えることです。公衆衛生学は、生涯にわたる健康を扱う学問で、体育大生にとって期待値の高い学問ではないでしょう。しかし、皆さんが期待していない分だけ、インパクトを与えやすいとも言えますね。

20歳前後の皆さんに、「高い熱量」で「期待されていないけれど、面白そうで身近な情報」を放り込んだら、いったい何が起きるのでしょうか。嫌がられるのか、楽しんでもらえるのか、それとも何も起きないのか。私の熱は、引退するその日まで持つのか。講義のかたちは、時とともにどう変わっていくのか。そもそも、このやり方は「正解」だったのか。その結論は、大学教員を引退する日に出すつもりです。そのとき私は、きっと最高に嬉しそうな顔で、こう言うのでしょう。

「どうだ、すごいだろ?」



スポーツ生命科学系

講師

古瀬 裕次郎 先生

研究キーワード

- ・ 公衆衛生学
- ・ ヘルスプロモーション

< 発行 >

鹿屋体育大学 教育企画・評価室
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
管理棟1階 教務課内

・TEL&FAX : 0994-46-5082
・E-MAIL : kyoumu-ap@nifs-k.ac.jp

< 企画・編集 >

北村尚浩・淵田留美・濱松千穂

Topic2 授業振り返りアンケートの結果は教員顕彰にも活用されています



特別優秀授業賞

本学の授業において、特に優れた教育能力を発揮した教員に送られる賞です。
今年度は5名の方が表彰されました。（※今回は令和6年度の授業に対するものです。）



スポーツ・武道
実践科学系
濱田 幸二 教授

球技は「楽しい」ですが、ただ楽しいだけでは授業は成立しません。私が授業で大切にしていることは、「仲間との連携」です。そこで毎回「少し高度なテーマ」を提示して、班ごとの戦術ミーティングを行い進めています。流石！体育大学生と思うところは、自然とリーダーが生まれ、建設的にチームが作られていくところです。そのような学生の成長を授業の中で見ることに喜びを感じています。今後も真摯に準備・探究に励んでいきます。



スポーツ・武道
実践科学系
三浦 健 教授

バスケットボール、バドミントンを担当しています。1回の授業の内、前半は基本技術を紹介し取り組んでもらっています。基本技能を高めることにより、受講生の運動技能が少しでも向上するよう指導しています。後半のゲームでは毎回対戦チーム（ペア）を成績に基づいて入れ替えています。受講生は体育大生ならではの競争意識を全面に出して頑張ってくれます。更なる加齢には抗えませんが、皆さんと対戦を続けられるよう精進します！



スポーツ人文・
応用社会科学系
中本 浩揮 教授

教員1年目の授業感想で「いつまでこんな腐った授業をやるんですか」とコメントをもらったことがあります。この言葉は、当該学生への怒りなしに（いや、当時は少しあったかも）、今でもありがたい言葉（金言）として胸に刻んでいます。あれから10数年、学生に授業を高く評価されたことは率直にうれしく思いますし、金言をくれた学生に御礼を言いたい気分になりました。良くも悪くも学生の思い出に残る授業になるよう今後も試行錯誤したいと思います。



スポーツ人文・
応用社会科学系
梶 ちか子 教授

AIも高度化し、学ぶためのコンテンツは大学の外に無限に広がっています。しかし、情報が容易に得られる時代だからこそ、大学における授業は、「知」を仲間と共に創り出す場であるべきだと感じています。教員や仲間と対話しながら問いを深め、議論し、新たな視点に触れ、協働して新しい「知」を創出する、さらには身体を伴う実践に挑む—こうした、AIでは代替できない体験を、大学の授業で実装していきたいと思います。



スポーツ・武道
実践科学系
藤井 雅文 准教授

この度、特別優秀授業賞に選出いただき、心より感謝申し上げます。担当するソフトボールや競技スポーツ論・実習などでは、単なる知識の習得や技術の向上だけでなく、仲間と学び合う過程や、自ら考え行動する力を大切にしてきました。授業での関わりの中で、学生とともに挑戦し、成長を実感できる時間は、私にとってもかけがえのない学びです。今後も座学や実技を通して、人と集団が育つ授業を探究してまいります。

POINT

「授業振り返りアンケート」は、受講学生のより充実した学びを促進するとともに、教員の授業改善の取組を加速させることにも寄与しています。毎学期アンケートは大変かもしれませんが、学生自身の素直な振り返りが本学の教育の質を向上させることにも繋がっていることを理解し、取り組んでいただければと思います。



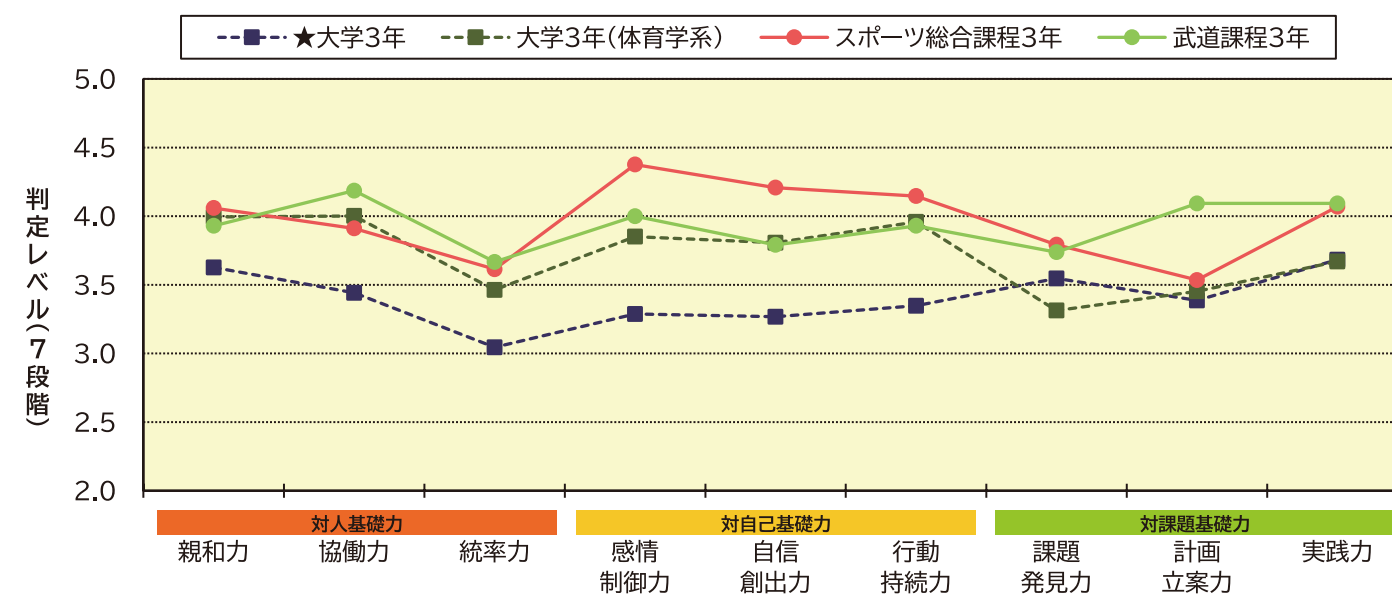
優秀授業科目担当者

令和6年度優秀授業賞で顕彰された教員の一覧です。

（※五十音順）

実技科目		講義・演習科目			
梶 ちか子	ダンス②	幾留 沙智	教育相談・カウンセリング 論	隅野 美砂輝	キャリアセミナー
坂中 美郷	バレーボール① バレーボール②	梶 ちか子	特別活動論 保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ 教職実践演習（中・高）	関 朋昭	スポーツマネジメント概論
塩川 勝行	バドミントン②	金高 宏文	キャリアセミナー	永原 隆	教職実践演習（中・高）
成田 健造	陸上・体操・水泳①（水泳）	国重 徹	キャリアセミナー	中本 浩揮	教職実践演習（中・高） 教育相談・カウンセリング 論
濱田 幸二	バレーボール① バレーボール②	栗山 靖弘	国語・文章表現法 教職実践演習（中・高）	成田 健造	教職実践演習（中・高）
藤井 雅文	ソフトボール② 競技スポーツ論・実習Ⅰ－野球	古瀬 裕次郎	衛生学・公衆衛生学 環境論	濱田 幸二	教職実践演習（中・高）
前村 かおり	バスケットボール②	小森 大輔	教職実践演習（中・高）	廣津 匡隆	救急処置論・実習
萬久 博敏	陸上・体操・水泳①（水泳）	坂中 美郷	教職実践演習（中・高）	森 克己	教職実践演習（中・高）
三浦 健	バドミントン② バスケットボール②	笹子 悠歩	教職実践演習（中・高）	吉田 剛一郎	運動生化学

Topic3 3年生・PROGテスト結果 全国平均を上回る！



上の図は、令和7年11月に実施した3年生（3年次編入生を除く）のPROGテストにおけるコンピテンシー中分類要素の結果を示したものです。「対人基礎力」、「対自己基礎力」、「対課題基礎力」全てのスコアにおいて全国の大学3年生の平均を上回っています。汎用的スキルが高いというのが本学の特徴であり、強みになるかと思います。PROGテストは、1年次、3年次、4年次の3回（3年次編入生は、入学次、4年次の2回）受検があります。受検することで今の自分の強みと課題を知り、今後の学生生活でどのように取り組むか計画していきましょう。自分の強みを知ること、就職活動での自己PRにも役立ちます。